

住友病院が目指すSDGs (持続可能な開発目標)

住友病院は国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)を、理念である「信頼性の高い医療で社会に貢献」するための中長期目標につなげ、専門職としての能力開発に努めつつ、職員自身も健康であり、地域・職域の人々の健康的な社会を実現することを目指しています。

地域・職域の健康を支える 医療機能の強化

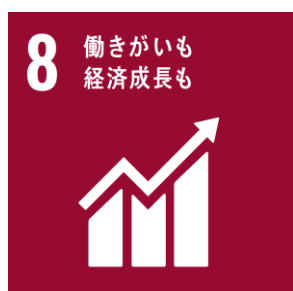


- 1-1 医療提供体制の構築
- 1-2 地域連携における健康・治療・療養体制の強化に向けた取り組み
- 1-3 地域における医療専門職の確保と研修・学習体制の推進
- 1-4 新型コロナウイルス感染症の柔軟な対応
- 1-5 感染症パンデミック対策及び災害時の支援
- 1-6 BCP(事業継続計画)の策定と災害への備え
- 1-7 市民公開講座によるヘルスリテラシーを高める機会の提供

地域・職域の健康を支える職員の やりがい・生産性の向上



- 2-1 働き方改革の推進とキャリア支援
- 2-2 専門性を発揮するに資するタスク・シフト/シェアの推進
- 2-3 子育て世代の仕事と家庭・介護の両立支援
- 2-4 ワーク・ライフバランスに応じたeラーニングによる学習支援
- 2-5 健康投資と円滑なコミュニケーションによる生産性向上の好循環維持
- 2-6 壮年期から健康増進を行い、長く働き続けられる健康づくり
- 2-7 治療と仕事の両立支援と働き続けられる職場づくり
- 2-8 障がい者の雇用と安心して働ける職場環境づくり



健康と医療におけるエビデンスや知見創出に 向けた研究活動参画と推進



- 3-1 大学や企業との連携における医療・疾病予防のエビデンス構築活動
- 3-2 地域医療の水準を高めるための専門職への公開セミナー開催
- 3-3 専門性を発揮するに資するタスク・シフト/シェアの推進
- 3-4 ワーク・エンゲイジメントを高める生涯学習、研究活動支援